

同 志 社 大 学

2013 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2014年03月 日提出

所 属	職 名	氏 名
経済学部	教 授	八 田 英 二
研 究 題 目	日 本 経 済 の 構 造 変 化 の 実 証 的 分 析	
研 究 成 果 の 概 要	<p>日本経済の成長、発展とともに産業構造は大きな変化を経験してきた。第1次産業から第2次産業、そして第3次産業への重心移動は多くの先進国にみられる現象である。本研究では、1990年代から始まった長期不況とともに、わが国の産業構造にどのような変化が見られたのかを分析した。とりわけ第3次産業の中でも情報サービス業に比重が移ったことを、理論的考察とともに、実証的な検討を行った。</p> <p>さらに産業を細分化し、グローバル経済化とともに各産業において非競争的圧力が強まったのか、あるいは弱まったのかについて実証的な解明を試みた。市場構造、市場行動、市場成果を分析視点とする産業組織分析の手法を用いて、各産業の市場構造の変遷、市場成果の推移について検討を進めた。同時に製造業傘下の産業に焦点を絞り、経常利潤率の推移、海外生産の展開、研究開発投資の浸透についても分析した。</p> <p>このような分析成果は『日本経済の新地平』（八田ほか編著、晃洋書房、2013年9月）として公刊した。</p>	